

4月	5月	6月	7月	8月	9月
----	----	----	----	----	----

重点	ESDでつきたい能力・態度	新学習指導要領における育成すべき資質・能力
○	①批判的に考える力	主に思考力・判断力・表現力に関わる力
	②未来を予測して計画を立てる力	
○	③多面的・総合的に考える力	
	④コミュニケーションを行う力	
○	⑥つながりを尊重する力	主に学びに向かう力・人間性に関わる力
	⑤他者と協力する力	
	⑦進んで参加する力	
	学びの土台となる、学びや経験	知識・理解

《国語》「図書館へ行く」  
・地域の図書館や社会教育施設の使い方を知り、必要なときに活用する。

《国語》「意見と理由とのつながりを聞き取ろう」  
・適切な理由を挙げて意見を述べることを学び、生かす。

○ テーマに沿って海洋交流学习に向けて調べをしよう。  
<川の生活と海の生活のつながり>  
・川の生活と海の生活はどんなことでつながっているのだろうか。  
・川の豊かさと海の豊かさに関係があるのかな。  
<海辺の災害>  
・東日本大震災では大きな被害と聞いているけど、実際よく分からないんだ。調べたいな。  
・数字だけでは想像できない。実際に被害にあった人に聞いてみたいな。  
<海辺の人々の生活>  
・どんなことで生計を立てているのだろうか。  
・どんな豊かさを感じているのだろうか。  
・どんなことに不便さを感じ、どんな対策を立てているのだろうか。

○ 只見を流れる川が海とつながっていることを理解し、海辺の人たちはどのような生活しているかを話し合い、問いから課題を設定する。  
・4年生では、只見の川が豊かなことを学んだね。自然との共生がユネスコ・エコパークの考えだったね。  
・川の豊かさは海までつながっているのだろうか。影響があるのだろうか。  
・川は大雨・洪水によって変わったことが分かったけど、海でも災害によって影響は大きいと聞いたよ。どのくらいの被害になるのかな。  
・川の楽しさも学んだよね。海の楽しさはどうか。川と同じくらい楽しいのかな。  
・海辺に生活する人は海のどんなよさを知っているのかな。どんな怖さを知っているのかな。  
・海辺の人から見たら、只見町のよさはどのように映るんだろう。

《国語》「新聞の投書を読んで意見を書こう」  
・自分の考えについて読み手を説得させる書き方を学び、生かす。

《算数》「およその面積や体積」  
・およその面積や体積の求め方を学び、被害の大きさを想像することにつなげる。

《国語》「問題を解決するために話し合おう」  
・自分の考えを的確に伝え、相手の意図を考えながら話し合うことを学び、生かす。

○ 海洋交流学习から学んだことをまとめよう。  
・実際に行ってみて災害の大きさを想像することができたよ！自然と共生していくときに考えなければならないこともあると実感したよ。  
・海の楽しさをみんなにも伝えたいな。どうやったら伝えられるかな。  
◎ 課題設定2につなげる。  
・災害から学んだことを生かして災害対策を徹底していると感じたよ。只見は動かな。自然との共生のために考えなければならないことなんじゃないかな。

○ 海洋交流学习を通して、「海を知り、海に親しむ」ことから自然との共生について考えよう。  
<川の生活と海の生活のつながり>  
・仙台を流れる川は、福島県から流れてきているんだね。知らなかった。  
・仙台城を築いた木材は、福島県産の木材で、切り出した木を川の流れを利用して運んだんだね。川の上流の生活と海辺の人の生活がこんなつながりを持っていたなんてびっくりしたな。調べてみないと分からなかったよ。  
<海辺の災害>  
・あんな速く、こんな高さまで津波の被害があったなんて。多くの建物や人々が流されてしまったということが想像できないよ。自然が起こす災害って人間の予想を遙かに超えるんだね。  
・災害の怖さを伝えるための活動や自然災害の被害を最小限に抑えようといういろいろ考えて対策しているんだね。  
<海辺の人々の生活>  
・昔から海の豊かさを利用して生活しているんだね。  
・海って楽しいね。もっと親しみたい。海辺で生活する人は、海のよさを実感し、海からの恩恵を受けて生活しているんだね。只見と似ているな。  
・災害から学んだことを生かして生活しているんだね。

まとめ・ふり返り調べたことをまとめよう。

課題設定1  
海辺の生活についての問いを探そう。

《国語》「文章を読んで考えを持とう」  
・筆者の「未来の幸せを願って生きる」ことにつなげて考え

《道徳》「チョモランマ清掃隊」  
・自然と共存するために大切なことについて考えを深める。

《なかよし活動》  
・只見の川に親しみ、めぐみを実感する。川の様子や川に住む生き物について知る。

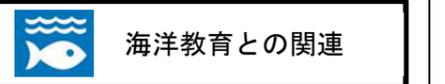
《学級活動》「放射能事故とこれからの生活」  
・放射能から食の安全を守るために、どのような取り組みをしているか。

《道徳》「米作りがアフリカを救う」  
・他国の文化や文化について理解し、世界で自分を力を生かすことについて考えを深める。

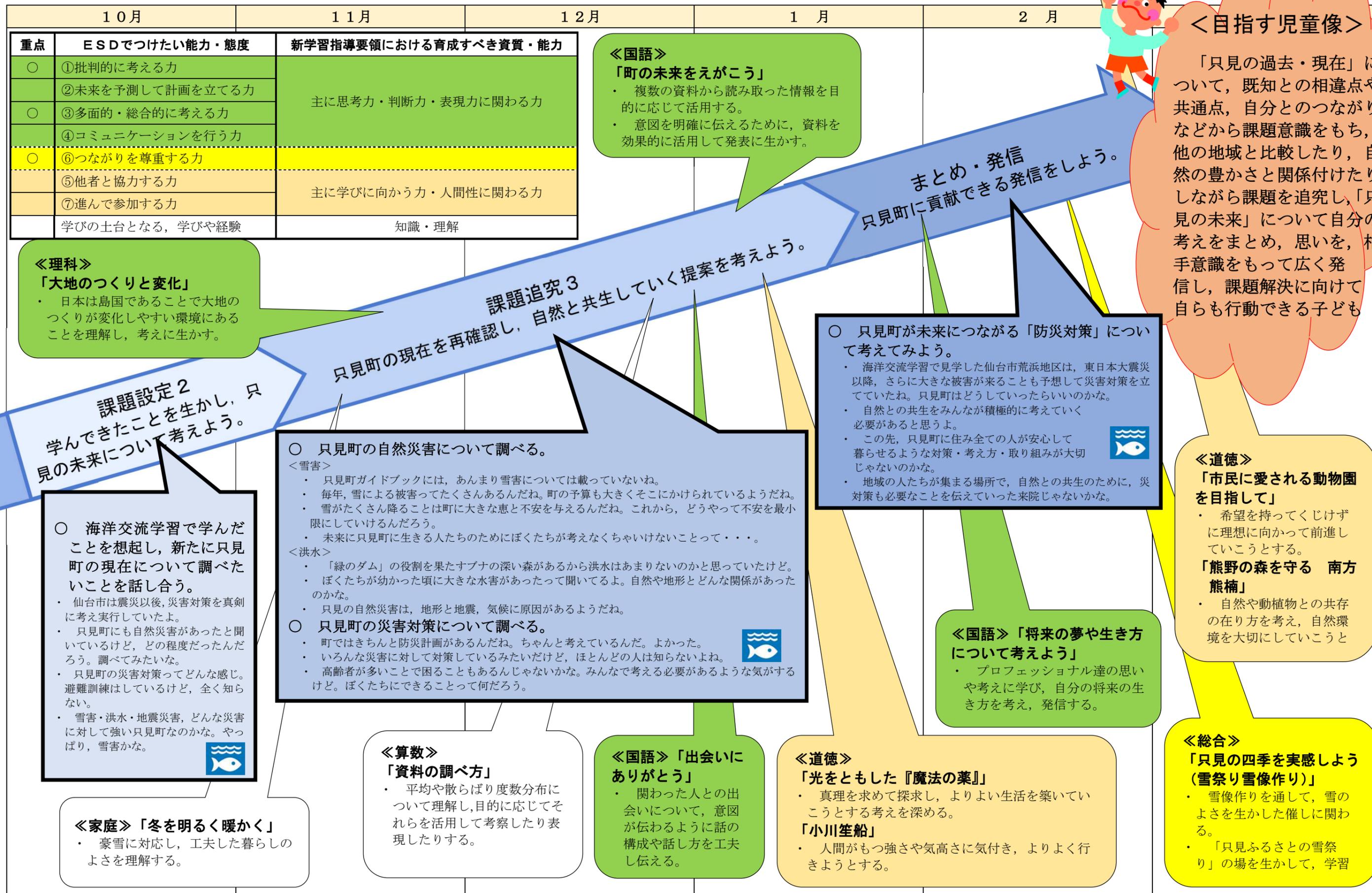
《道徳》「ミッキーマウスの誕生」  
・自分の目標をもってくじけず努力し、自分を向上させることについて考える。より高い目標をもって努力する心情を育てる。

課題追究2  
海洋学習から海を知り、自然との共生に生かそう。

課題追究1  
海洋交流学习に向け海辺の生活について学ぼう。



# 第6学年「只見の過去・現在・未来」ESDストーリーマップ



## ≪目指す児童像≫

「只見の過去・現在」について、既知との相違点や共通点、自分とのつながりなどから課題意識をもち、他の地域と比較したり、自然の豊かさと関係付けたりしながら課題を追究し、「只見の未来」について自分の考えをまとめ、思いを、相手意識をもって広く発信し、課題解決に向けて自らも行動できる子ども

**課題設定2**  
学んできたことを生かし、只見の未来について考えよう。

**課題追究3**  
只見町の現在を再確認し、自然と共生していく提案を考えよう。

**まとめ・発信**  
只見町に貢献できる発信をしよう。

○ 海洋交流学習で学んだことを想起し、新たに只見町の現在について調べたいことを話し合う。

- ・ 仙台市は震災以後、災害対策を真剣に考え実行していたよ。
- ・ 只見町にも自然災害があったと聞いているけど、どの程度だったんだろう。調べてみたいな。
- ・ 只見町の災害対策ってどんな感じ。避難訓練はしているけど、全く知らない。
- ・ 雪害・洪水・地震災害、どんな災害に対して強い只見町なのかな。やっぱり、雪害かな。

○ 只見町の自然災害について調べる。

<雪害>

- ・ 只見町ガイドブックには、あんまり雪害については載っていないね。
- ・ 毎年、雪による被害ってたくさんあるんだね。町の予算も大きくそこにかかれているようだね。
- ・ 雪がたくさん降ることは町に大きな恵と不安を与えるんだね。これから、どうやって不安を最小限にしていけるんだろう。
- ・ 未来に只見町に生きる人たちのためにぼくたちが考えなくちゃいけないことって……。

<洪水>

- ・ 「緑のダム」の役割を果たすブナの深い森があるから洪水はあまりないのかと思っていたけど。
- ・ ぼくたちが幼かった頃に大きな水害があったって聞いてるよ。自然や地形とどんな関係があったのかな。
- ・ 只見の自然災害は、地形と地震、気候に原因があるようだね。

○ 只見町の災害対策について調べる。

- ・ 町ではきちんと防災計画があるんだね。ちゃんと考えているんだ。よかった。
- ・ いろんな災害に対して対策しているみたいだけど、ほとんどの人は知らないよね。
- ・ 高齢者が多いことで困ることもあるんじゃないかな。みんなで考える必要があるような気がするけど。ぼくたちにできることって何だろう。

○ 只見町が未来につながる「防災対策」について考えてみよう。

- ・ 海洋交流学習で見学した仙台市荒浜地区は、東日本大震災以降、さらに大きな被害が来ることも予想して災害対策を立てていたね。只見町はどうしていったらいいのかな。
- ・ 自然との共生をみんなが積極的に考えていく必要があると思うよ。
- ・ この先、只見町に住み全ての人が安心して暮らせるような対策・考え方・取り組みが大切じゃないのかな。
- ・ 地域の人たちが集まる場所で、自然との共生のために、対策も必要なことを伝えていったらいいかな。

**≪道徳≫ 「市民に愛される動物園を目指して」**

- ・ 希望を持ってくじげずに理想に向かって前進していこうとする。
- ・ 「熊野の森を守る 南方熊楠」
- ・ 自然や動植物との共存の在り方を考え、自然環境を大切にしていこうと

**≪総合≫ 「只見の四季を実感しよう(雪祭り雪像作り)」**

- ・ 雪像作りを通して、雪のよさを生かした催しに関わる。
- ・ 「只見ふるさとの雪祭り」の場を生かして、学習